

科目名称	基本技術Ⅱ(共通基本技術)	学年学期	単位数	時間数
		1年前期		50
担当教員	原田和恵	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 看護師 ) <input type="checkbox"/> 無	

## 【1】 授業概要

看護ケアを提供するあらゆる行動がコミュニケーションとして働き、その適否が患者-看護師関係において重要となる。また、看護の方向を決めるのは看護師の観察であり、それが看護過程の出発点にもなる。看護ケアを提供する上で不可欠なコミュニケーション技術・観察技術・看護過程の考え方について授業展開する。

## 【2】 学習目標

- 看護におけるコミュニケーションの重要性及び患者-看護師関係を発展させるコミュニケーション技術を理解できる。
- 観察の意義・目的・種類について理解できる。
- バイタルサインの測定に必要な基礎知識を理解し、正しい測定方法を習得することができる。
- 身体各部の測定の目的と測定方法を理解し、正しい身体各部の測定方法を習得することができる。
- 看護過程の構成要素について理解することができる。
- 看護記録の目的と意義・種類・注意点・保存と管理について理解することができる。
- 報告は医療チームのメンバーや患者・家族など必要な情報を共有し、より良い医療・看護ケアの提供のために欠かせないものであると理解することができる。

## 【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- 人に関心を持ち多様な人間を理解する力
  - 1. 人間を生活者として捉えることができる。
  - 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
- 看護を実践する力
  - 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
  - 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
  - 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
- 人間関係を構築する力
  - 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
  - 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
- 主体的に学び続ける力
  - 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
  - 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

## 【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	看護技術とは	講義
2	学内実習オリエンテーション	講義
3	コミュニケーションの意義・種類・構成要素	講義・演習
4	患者-看護師関係を発展させるコミュニケーション技術①	講義・演習
5	患者-看護師関係を発展させるコミュニケーション技術②	講義・演習
6	自分も相手も大切にすることをコミュニケーションとは	講義・演習
7	看護における観察の意義	講義
8	看護における観察の視点-バイタルサインの種類と測定の目的-	講義
9	「意識」「呼吸」の“サイン”をよむ	講義・演習
10	「脈拍」の“サイン”をよむ	講義
11	「血圧」の“サイン”をよむ	講義・演習
12	「血圧」を測る①	講義・演習
13	「体温」の“サイン”をよむ	講義
14	体温・脈拍・呼吸を測る	学内実習
15	血圧を測る②	学内実習
16	血圧を測る③	学内実習
17	血圧測定 実技試験	実技試験
18	身体各部を正しく測る	講義・演習
19	情報収集	講義・演習
20	看護過程とは 看護過程の構成要素の特徴	講義・演習
21	情報収集とアセスメント①	講義・演習
22	情報収集とアセスメント②	講義・演習
23	看護上の問題の明確化と看護診断	講義・演習

24	計画立案・実施・評価の過程	講義・演習
25	看護記録・報告	講義

**【5】 評価方法**

筆記試験、実技試験、レポートの提出状況などで総合的に評価する。

**【6】 教科書**

千葉 京子 他著 「看護学入門6 基礎看護Ⅱ《基礎看護技術》」 第7版 メヂカルフレンド社 2025年  
 藤野彰子他 編著 「看護技術ベーシックス 第2版」 サイオ出版 2024年

**【7】 参考書**

適宜提示します。

**【8】 受講生へのメッセージ**

事前学習として、教科書の該当ページを読んで授業に臨みましょう。